



安岐川で鮎の放流

安岐川を素足で歩く会（徳部伝造会長）は、安岐中央小学校4年生児童45人、安岐中央幼稚園園児29人と、4月23日（休）安岐町中園の高原橋で、鮎の稚魚を放流しました。

同会は、安岐川の環境を守り、子どもたちが自然と親しむことを目的に、毎年この時期に稚魚の放流を行っています。参加した小学生と園児らは、鮎が大きくなって安岐川に戻ってくるようお願いしながら、約3,000匹の稚魚を放流しました。



弥生のムラ「端午の節句遊び」

子どもたちの健やかな成長を願う「端午の節句遊び」が5月5日（火・こどもの日）、弥生のムラ・国東市歴史体験学習館で行われました。古くから満1歳の誕生祝として行われてきた「餅ふみ・餅かるい・物えらび」や、泣き声を競う「泣き相撲」に、2歳未満の子ども44人が参加しました。

また、会場ではインストラクターの指導による勾玉づくり・ガラス玉・火おこし・弓矢などの古代体験や、粘土で作ったこいのぼりのプレゼント、地元の方々の手作りかしわ餅の無料配布が行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。



水辺からバケツリレーでトラックへと積み込みました

武蔵川 ボランティアによるホテイアオイの除去

川本来の機能を回復し、生態系を守るため、「武蔵川・川づくり委員会」は5月18日（月）武蔵町成吉で、地域ボランティアの方などの協力により、昨年からの異常繁殖しているホテイアオイ等の除去作業を行いました。

当日は、地元の方や建設業協会、県国東土木事務所職員など90人が参加し、成吉橋から下流のいせきまでの200mで3箇所に分かれて除去作業を行いました。また、県国東土木事務所は、武蔵川で約2.8km、国東町安国寺の田深川で0.6kmの区間の除去作業を行いました。



国東市葬斎場に植樹

くにさきロータリークラブ（宮永侘健会長）は、クラブ創立25周年記念事業として、4月19日（日）国東市葬斎場の広場に、山桜・山モミジそれぞれ10本と松5本の植樹を行いました。

15年前の10周年の際にも桜を植樹し、これからは春の桜に加えて、秋には紅葉と1年に2度広場が彩られることになり、同葬斎場で悲しみに沈む遺族等の心を癒してくれる場になることを願って植樹を行いました。

また、この植樹に先立ち、毎年継続している弥生のムラでの「彼岸花10万本植樹」も行いました。